

平成 29 年 12 月 南田中図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 12 月 21 日（木） 14 時 50 分から 15 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 南田中図書館指定管理者（株式会社図書館流通センター）（以下「田」） 南田中図書館長、同館業務従事者（2）、本社スタッフ（1）</p>
内容	<p>① 一般事業について</p> <p>（光）10 月にあった、現金での弁償を求める苦情について。他自治体の受託館の状況は。 →（田）現金で行っている館もあるかもしれないが、自治体では、その収入は雑入的な扱いとなって、図書館が使えるお金とはならず、資料の買い替えにつながらない制度となっている。そのため、現物での弁償が多いのではないと思う。</p> <p>（光）試聴機の台数増や試聴時間を延長してほしい要望があった。 →（田）現在の利用状況から見て、試聴機は 1 台で適切と思っている。また、試聴時間についても「試聴」の時間なので、こちらも 1 時間でよいと思うし、次の利用者がいなければ、さらにもう 1 時間、試聴時間を延長できるようにしている。</p> <p>（光）10 月の敬老館との共催事業「おりがみ交流会」について →（田）元々事業計画ではなく、隣接する南田中敬老館のおりがみ教室の方々による作品を館内展示する企画だった。そこから発展して、おりがみ教室の講師の方を招いて、敬老館利用者、図書館利用者が一緒に折り紙を作って交流する会となった。参加者は三世代が入り混じった構成になり、和やかな雰囲気の中で楽しんでいた。</p> <p>（光）10 月の「南田中寄席『桂扇生 独演会』」について →（田）今年度で 6 回目の開催。文化活動の一環として実施しているが、利用者層の拡大や図書館を知ってもらう目的もある。会場となった南田中小学校の体育館には、図書館資料のほか、図書館だよりや寄席情報も展示・配布し、多くの関連本の貸出につなげることができた。なお、体育館への誘導や空調の音など、運営面での改善が必要と感じた。</p> <p>（光）10 月開催の「秋の南田中句会」について →（田）昨年度は、石神井公園ふるさと文化館と連携して、講演会と句会のシリーズ企画を行ったが、今年度は図書館単独の事業。一回目は初心者が気軽に参加出来るよう、「俳句の詠み方 入門編」として講座を行った。二回目は近隣の寺院へ行き吟行というスタイルを取った。吟行後、図書館に戻って、講師より一句ずつ品評をもらい優秀作品の発表を行った。当日作った句は、全員分を館内に展示した。</p> <p>（光）11 月開催の展示講演会「絵本がおしえてくれる家づくり」について →（田）建築家の団体と協力して、木の家にまつわる絵本と建築模型を展示したもの。昨年度はまちづくりセンターとの協力事業だったが、今年度は館の単独事業として開催した。建築家によるギャラリートークでは、自分が選んだ絵本とスライドを映して、その家のコンセプトに触れたりしながら、家づくりの知識等について解説した。参加者一人ひと</p>

りの滞在時間が長く、熱心に講師陣と話し込む方も見られた。

② 児童サービス事業について

(光) 中学校は小学校に比べると学校図書館の利用が活発でない

→ (田) 中学校では読書時間といったものもなく、どうしても本や読書が好きな子の利用に限られている現状がある。こちらとしては、授業で学校図書館を使ってもらう形にして、その中で支援ができないか、というところである。年1回でもクラス単位で学校図書館に来てもらえないかどうか、その場でブックトーク等も出来る旨、学校側に提案している。お昼休みにお話会を開催すると、意外に興味を持ってくれる子もいるので、そうしたところから取り組みたい。

(光) 10月開催の「秋のこうさく会『不思議なからくりカード絵本』」について

→ (田) 4歳から小学校3年生までと小学校4年生以上の2部に分けて工作会を開催した。関連本を展示したり、アイデアが浮かばない子供たちには資料を参考に見せたりして、貸し出しにつなげた。2部制にしたことで、年齢に応じた作品作りがスムーズに出来た。

(光) 11月に行った高齢者施設での出張おはなし会にユースサポーターのメンバーが参加している。

→ (田) 今年の1月にユースサポーターのメンバーによる子供向けの新春おはなし会を実施している。この時は大盛況で、今度は高齢者施設でやってみないかと持ち掛けたところ、メンバーの方からは是非やってみたいという声上がり、リサイクルブックフェアと併せて行うこととなった。10月には臨時の活動日も設け、ゆっくり大きな声で読み聞かせを行う練習をしてきたが、当日は高校生1名のみの参加となった。子供向けのお話会とは勝手が違って緊張したようだ。

→ (光) 読み聞かせの他にも、シルバー川柳クイズや漢字クイズなどユニークな演目を行っている。

→ (田) お話会といっても読み聞かせだけでなくいろいろ楽しんでもらおうと、レクリエーションの本などを読んで試行錯誤している。今回は場の盛り上げ方や、会場内で誰もが参加しやすい方法など工夫する必要を感じた。

③ その他

(光) 利用者アンケートの結果を受けて、スタッフの接遇やスキル向上を掲げている。

→ (田) スタッフの接遇面やスキルに差がある点について意見をいただいている。今年の4月にスタッフが新しく入れ替わったこともあり、レファレンスの部分など、もう一歩レベルアップする形で、研修等を行いスキルの向上に努めていきたい。

(光) 利用者懇談会は昨年度の二部制から一部制に変更したが結果は。

→ (田) 一般団体と児童団体で別にする必要はなく、団体や地域との交流の観点から一部制にしたが、問題はなかった。